

毎週日曜発行
2022 7/31

こども新聞
週刊

がほピヨンス



河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうのテーマ

あなたの隣の 外国人

石巻市には、インドネシアから来たイスラム教徒の技能実習生が約10

イスラム教徒は、1日5回お祈りをします。それに加え、年に2回の特別な日と毎週金曜は、モスクで集団礼拝します。

ソヨド・アブドウル・ファッタさん(51) バングラデシュ出身／建設会社社長

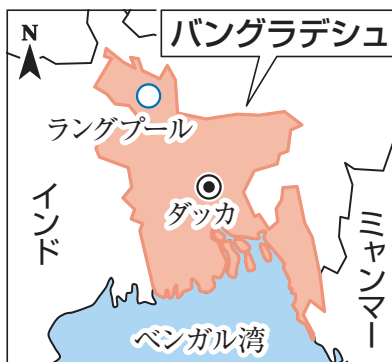
みんなはモスクって知ってる？ イスラム教徒が集まり、お祈りする場所だよ。石巻市に今月、ドームを備えた市内初のモスクが完成しました。自身もイスラム教徒で、建設を進めたバングラデシュ出身の建設会社社長ソヨド・アブドウル・ファッタさん(51)に、話を聞いたよ。

0人住んでいます。ソヨドさんは「これまでは、モスクのある仙台市まで、毎週仕事を休んで通わなければならず、とても大変でした」と話します。



モスク建設計画は、5年前に始まりました。市内在住のイスラム教徒らで石巻イスラム文化センターを設立。市民らの協力を得ながら、計画を進めました。「ようやく完成してうれしい」と笑顔を見せます。ソヨドさんは、バング

モスク建設 多文化共生へ



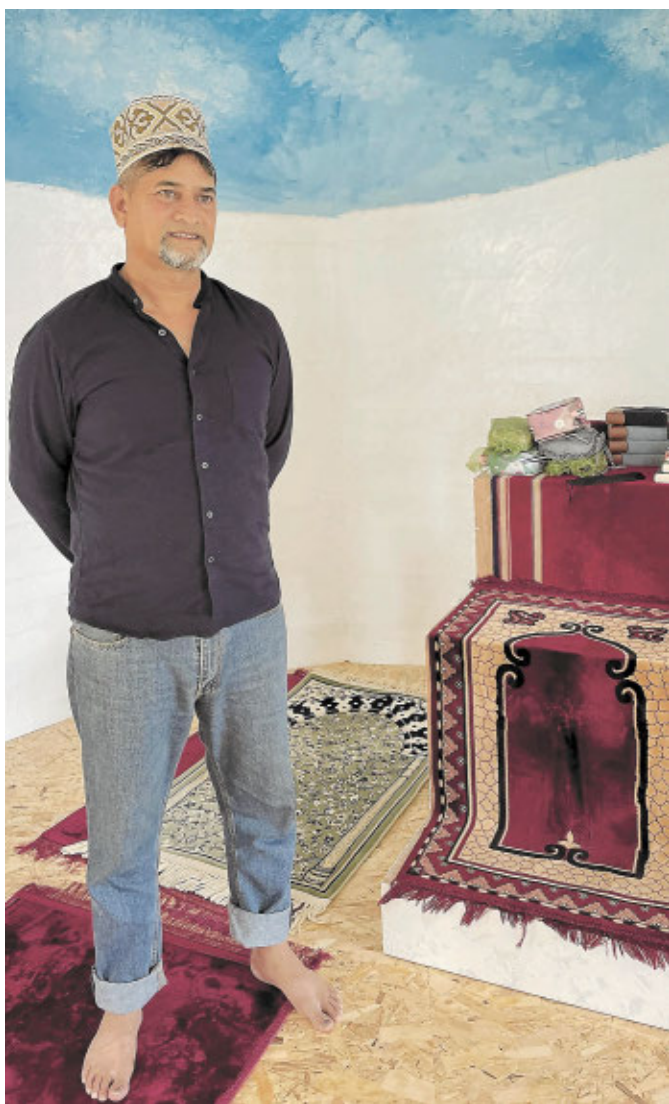
ラデシュのラングプール市生まれ。小学校の教科書に日本について書いてあり、ずっと興味を持っていました。1995年に来日し、建設業に携わってきました。

東日本大震災後、「被災地をサポートしたい」と、当時住んでいた愛知県から東松島市や石巻市に出向き、住宅再建などに力を入れました。「人の心が温かく、食べ物もおいしい。海風が通って涼しいし、石巻が大好きになりました」とソヨドさん。2015年に家族を呼び寄せて、完全に移住しました。



海そばに完成したモスクは、約60人が座れる広さがあります。「お祈りだけでなく、みんなのコミュニケーションの場にした」と。イスラム教徒の心よりどころだけでなく、多文化共生社会の拠点としても使っていくたいそうです。

「石巻は、日本一住みやすい場所」と言うソヨドさん。人種や宗教を問わず、誰もがそう思えたい。



「常に自分で勉強することが大事」と話すソヨドさん。流ちょうな日本語は「独学で身に付けました」

今週の注目ニュース

◇8月1日(月) 水の日
8月は1年のうちで最も水の使用量が増えることから、2014年に制定されたよ。1～7日は「水の週間」。水不足にならないように、みんなで水を大切に、節水に取り組もう。

きょうの紙面

- 2面 沖縄復帰50年特集
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7・8面 投稿特集

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ